



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 関東電化工業株式会社
コード番号 4047 URL <https://www.kantodenka.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 淳一

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 代蔵 政伸

TEL 03-4236-8804

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

2023年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	34,840	△6.6	△428	—	137	△98.1	257	△95.0
2023年3月期第2四半期	37,307	32.3	6,581	48.9	7,346	67.6	5,192	71.2

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 2,077百万円 (△68.5%) 2023年3月期第2四半期 6,592百万円 (80.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	4.48	—
2023年3月期第2四半期	90.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	124,468	69,502	54.7	1,184.63
2023年3月期	130,762	68,774	51.6	1,174.54

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 68,060百万円 2023年3月期 67,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	23.00	33.00
2024年3月期	—	7.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,800	△18.9	△2,000	—	△1,600	—	△1,600	—	△27.85

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	57,546,050 株	2023年3月期	57,546,050 株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	93,137 株	2023年3月期	93,137 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	57,452,913 株	2023年3月期2Q	57,450,059 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2023年11月22日(水)に機関投資家・証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。決算説明会にて使用する決算補足説明資料は、説明会開催後、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(四半期連結損益計算書).....	6
(四半期連結包括利益計算書).....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理).....	8
(セグメント情報).....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、各種政策の効果により緩やかな回復基調にあったものの、依然として厳しい状況にありました。海外においても、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、金融資本市場の変動等による景気の下振れリスクに留意する必要性があり、先行き不透明な状況が続きました。

このような事業環境のもと、当社グループは積極的な営業活動を推進してまいりましたが、主に精密化学品事業部門における需要の大幅な減退により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、348億40百万円と前年同期に比べ24億66百万円、6.6%の減少となりました。損益につきましては、売上高の減少に加え、主に電池材料において原材料価格の高騰を受けた在庫残により売上原価が高止まりしたこと、さらに前期末からの販売価格の低下も反映した棚卸資産評価損を計上したことにより、経常利益は1億37百万円と前年同期に比べ72億08百万円、98.1%の減少となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は2億57百万円と前年同期に比べ49億34百万円、95.0%の減少となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

① 基礎化学品事業部門

無機製品につきましては、か性ソーダは、販売数量は減少したものの価格修正効果により、前年同期に比べ増収となりました。塩酸は、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

有機製品につきましては、トリクロールエチレンおよびパークロールエチレンは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、基礎化学品事業部門の売上高は、43億93百万円となり、前年同期に比べ2億63百万円、6.4%の増加となりました。営業損益につきましては、主に在庫影響により固定費が増加したため、営業損失3百万円となりました（前年同期は営業利益84百万円）。

② 精密化学品事業部門

半導体用特殊ガス類につきましては、三フッ化窒素および六フッ化タングステンは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。ヘキサフルオロ-1,3-ブタジエンは、販売数量の減少と販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。

電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、販売数量の減少と販売価格の低下により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、精密化学品事業部門の売上高は、282億03百万円となり、前年同期に比べ21億07百万円、7.0%の減少となりました。営業損益につきましては、売上高の減少に加え、主に電池材料における売上原価の高止まりと棚卸資産評価損の計上により、営業損失8億87百万円となりました（前年同期は営業利益60億07百万円）。

③ 鉄系事業部門

複写機・プリンターの現像剤用であるキャリアーは、販売数量の減少により、前年同期に比べ減収となりました。鉄酸化物は、着色剤の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、鉄系事業部門の売上高は、8億45百万円となり、前年同期に比べ6億00百万円、41.5%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益60百万円となり、前年同期に比べ3億37百万円、84.8%の減少となりました。

④ 商事事業部門

商事事業につきましては、化学工業薬品の販売減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上の結果、商事事業部門の売上高は、3億17百万円となり、前年同期に比べ38百万円、10.9%の減少となりました。営業損益につきましては、営業利益1億15百万円となり、前年同期に比べ24百万円、27.0%の増加となりました。

⑤ 設備事業部門

化学設備プラントおよび一般産業用プラント建設の売上高は、請負工事の増加により、前年同期に比べ増収となりました。

以上の結果、設備事業部門の売上高は、10億80百万円となり、前年同期に比べ16百万円、1.6%の増加となりました。営業損益につきましては、営業利益3億62百万円となり、前年同

期に比べ22百万円、5.9%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は、有形固定資産が増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産や棚卸資産が減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ62億94百万円減少し、1,244億68百万円となりました。

負債は、借入金や未払法人税等が減少したことなどから70億21百万円減少し、549億66百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が減少した一方で、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金が増加したことなどから7億27百万円増加し、695億02百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末の51.6%から54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の業績予想につきましては、2023年10月25日付にて公表しました業績予想から変更はありません。

なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,355	21,495
受取手形、売掛金及び契約資産	20,560	16,132
電子記録債権	1,130	1,269
商品及び製品	7,055	8,646
仕掛品	9,332	7,121
原材料及び貯蔵品	7,516	5,265
その他	5,030	3,206
貸倒引当金	△62	△49
流動資産合計	72,919	63,087
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,930	10,973
機械装置及び運搬具（純額）	19,291	18,573
建設仮勘定	10,512	13,970
その他（純額）	6,669	6,630
有形固定資産合計	47,404	50,148
無形固定資産	676	676
投資その他の資産		
投資有価証券	7,399	8,380
退職給付に係る資産	14	22
繰延税金資産	1,404	1,244
その他	950	915
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	9,762	10,555
固定資産合計	57,842	61,380
資産合計	130,762	124,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,620	8,586
電子記録債務	1,022	1,480
短期借入金	4,516	4,640
1年内返済予定の長期借入金	6,914	8,009
未払法人税等	2,701	290
役員賞与引当金	134	-
その他	8,769	7,974
流動負債合計	33,680	30,980
固定負債		
長期借入金	25,591	21,202
役員退職慰労引当金	143	142
役員株式給付引当金	18	25
退職給付に係る負債	1,805	1,859
その他	748	756
固定負債合計	28,308	23,985
負債合計	61,988	54,966
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,877	2,877
資本剰余金	1,859	1,859
利益剰余金	58,486	57,420
自己株式	△65	△65
株主資本合計	63,157	62,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,512	3,314
為替換算調整勘定	1,534	2,386
退職給付に係る調整累計額	275	267
その他の包括利益累計額合計	4,323	5,968
非支配株主持分	1,293	1,441
純資産合計	68,774	69,502
負債純資産合計	130,762	124,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	37,307	34,840
売上原価	26,047	30,709
売上総利益	11,259	4,131
販売費及び一般管理費	4,678	4,560
営業利益又は営業損失(△)	6,581	△428
営業外収益		
受取利息	6	31
受取配当金	145	152
為替差益	720	749
試作品売却益	111	-
その他	123	97
営業外収益合計	1,107	1,030
営業外費用		
支払利息	184	249
デリバティブ評価損	116	118
試作品売却損	-	71
その他	41	25
営業外費用合計	342	463
経常利益	7,346	137
特別利益		
投資有価証券売却益	-	449
特別利益合計	-	449
特別損失		
固定資産除却損	130	118
投資有価証券評価損	15	-
特別損失合計	146	118
税金等調整前四半期純利益	7,199	468
法人税等	1,987	106
四半期純利益	5,211	362
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	104
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,192	257

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,211	362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△386	866
為替換算調整勘定	1,610	856
退職給付に係る調整額	155	△8
その他の包括利益合計	1,380	1,715
四半期包括利益	6,592	2,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,579	1,902
非支配株主に係る四半期包括利益	12	174

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によって計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,130	30,310	1,446	356	1,063	37,307	—	37,307
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	650	1,851	2,502	△2,502	—
計	4,130	30,310	1,446	1,006	2,915	39,809	△2,502	37,307
セグメント利益	84	6,007	398	90	384	6,966	△385	6,581

(注) 1. セグメント利益の調整額△385百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	基礎化学品 事業	精密化学品 事業	鉄系事業	商事事業	設備事業	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	4,393	28,203	845	317	1,080	34,840	—	34,840
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	847	2,056	2,904	△2,904	—
計	4,393	28,203	845	1,165	3,137	37,745	△2,904	34,840
セグメント利益又は損失 (△)	△3	△887	60	115	362	△352	△76	△428

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△76百万円は、セグメント間取引消去であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。